

『建設物価 土木工事費指数』 2024年12月分の指数データを試験公表

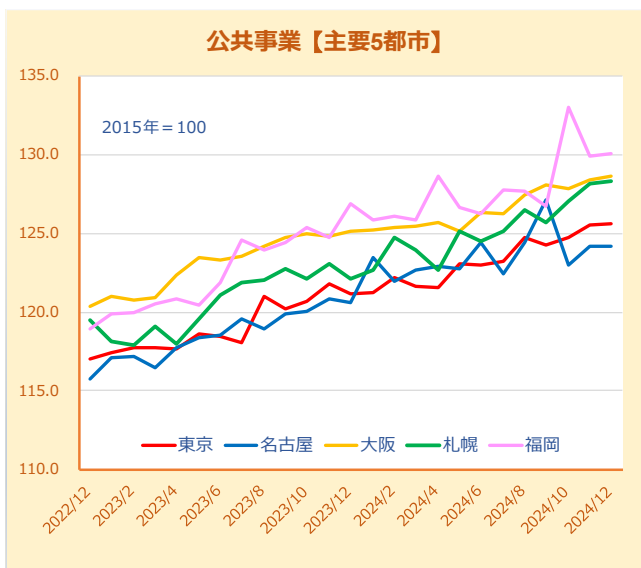
一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、『建設物価 土木工事費指数』の2024年12月分の指数データを2025年1月8日13:00より試験公表いたします。

土木工事費指数は、工事価格の変動を時系列や地域毎に把握することを目的に作成されており、物価としての土木工事費を時点間で比較したり、時系列でその動向を観察することも可能です。

■2024年12月分の指数動向（工事原価指数 東京）■（2015年=100.0）

- ▶公共事業の指数は、125.6(暫定値)と前月比で0.0%増、前年同月比3.7%増となった。
- ▶治水の指数は、126.4(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比3.8%増となった。
- ▶道路の指数は、123.7(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比3.4%増となった。
- ▶下水道の指数は、127.5(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比4.1%増となった。
- ▶道路改良の指数は、122.8(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比3.8%増となった。
- ▶道路舗装の指数は、116.4(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比2.7%増となった。
- ▶道路橋梁の指数は、130.5(暫定値)と前月比で0.0%増、前年同月比3.5%増となった。
- ▶道路補修の指数は、118.2(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比3.2%増となった。
- ▶災害復旧の指数は、125.0(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比3.4%増となった。

■工事原価指数グラフ■



※2024年12月の指数は「暫定値(P値)」です。

■工事原価指数値■

公共事業【主要5都市】

※2015年=100

年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡
2023年12月	121.2	120.6	125.1	122.1	126.9
2024年1月	121.3	123.5	125.2	122.6	125.9
2月	122.2	121.9	125.4	124.8	126.1
3月	121.6	122.7	125.5	123.9	125.9
4月	121.6	122.9	125.7	122.7	128.7
5月	123.1	122.8	125.1	125.1	126.6
6月	123.0	124.4	126.3	124.5	126.2
7月	123.2	122.4	126.3	125.1	127.8
8月	124.8	124.5	127.5	126.5	127.7
9月	124.2	127.1	128.1	125.7	126.8
10月	124.8	123.0	127.8	127.1	133.0
11月	125.6	124.2	128.4	128.2	130.0
12月	P 125.6	P 124.2	P 128.6	P 128.3	P 130.1

■2024年12月（暫定値）の土木工事費指数

～札幌、前年同月比で約5%増 - 労務費と材料費の上昇が主要因～

2024年12月の東京における公共事業の指数は125.6（暫定値）となり、前月比で0.0%増、前年同月比では3.7%と増加し、堅調な増加傾向を示した。工事種類別の動向では、全工事種類は前月比で0.1%程度微増した一方、前年同月比では下水道が4.1%増と最大の伸びとなり、他の工種でも高い伸びを示した。

主要5都市における公共事業の指数は、5都市すべてで前月比・前年同月比で上昇した。特に前年同月比ではすべての都市が前月比を上回る伸びを示しており、中でも札幌は約5%増と大幅な増加が見られた。この札幌の増加は労務費の上昇が主な要因であり、寄与度としては労務費が+2.8、材料費が+1.9であった。一方、前月比の増加幅は、各都市とも小幅にとどまった。材料費の内訳については、【建設物価 建設資材物価指数[®]】を参照。

【本件に関するお問合せ先】



一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 担当：池原 Tel：03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail：cecc_index@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_doboku/